

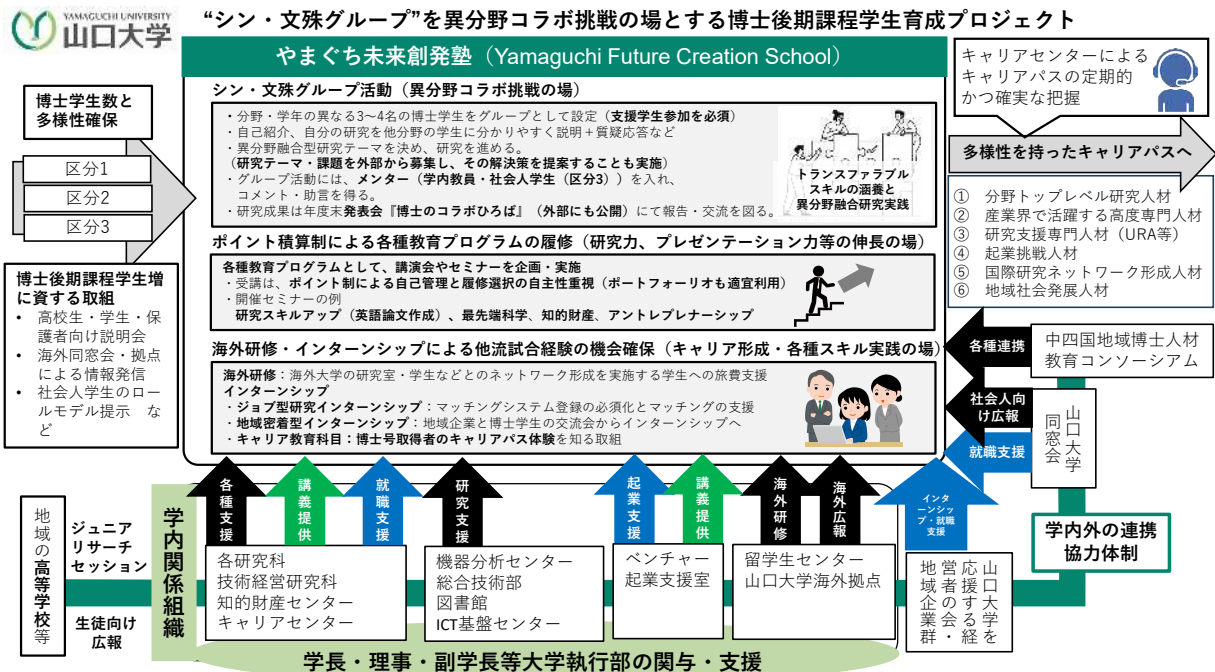
やまぐち未来創発塾について

1. やまぐち未来創発塾の概要

Society5.0実現に向けたイノベーション創出を担う博士後期課程学生、高い専門性とイノベーションマインドを持つ異分野融合研究実践人材を育成するために、トランスファラブルスキルの涵養と異分野融合研究の実践の場として、事業統括を塾長とする「やまぐち未来創発塾」を開設し、選抜学生を教育します。

本塾では、トランスファラブルスキル、キャリアデザイン、国際性、研究力（異分野融合研究発想・駆動力）を涵養する教育プログラムを実施します。さらに、相互触発と異分野融合研究の実践場として、異分野3人組グループ（シン・文殊グループ）を設置し、このグループ活動を通じてトランスファラブルスキルを磨くとともに、異分野融合研究の実践に挑戦します。

なお、卒業生については、その後のキャリアについて10年以上、追跡調査を行い、育成效果の評価を行いますので、本学やJSTが実施するキャリア追跡調査への協力は、支援を受けた学生の義務事項です。



2. やまぐち未来創発塾の卒業人材像

やまぐち未来創発塾において育成を目指す人材は、自らの専門の殻に閉じこもらず、異分野融合研究に積極的に取り組むマインドを持つ人材と総括できます。所属研究科を問わず、育成人材像に共通する語句は「イノベーション創出」であり、そのための5つの力（関連づける力、質問力、観察力、ネットワーク力、実験力）を自分のものにすることを、やまぐち未来創発塾の人材育成の目標とします。

3. やまぐち未来創発塾開講プログラム

やまぐち未来創発塾では、イノベーション創出人材に必要な5つの力（関連づける力、質問力、観察力、ネットワーク力、実験力）の根源となる①トランスファラブルスキルのほか、②キャリアデザイン、③国際性、④研究力（特に異分野融合研究の発想・駆動力）の4点を涵養する教育プログラムを実施

します。教育プログラムの受講方法については、入塾後、詳細に説明します。

①トランスファラブルスキル涵養と実践の場の提供

- ・「対課題スキル」涵養には、創成科学研究科の大学院共通科目群（イノベーション教育科目）を利用します。この科目群は、リサーチメソドロジー特論、イノベーション特論、技術ロードマッピング特論、製品開発特論から構成されており、選抜学生は、このうちから最低1科目の受講を必須とします。（開講時期、開講方法については、入塾後、説明します。）
- ・「対自己スキル」涵養は、「対課題スキル」で涵養した能力に基づいて自分の研究を分析することにより実施します。また、別途、開催予定の各種セミナーを履修することによっても、この能力を伸ばします。
- ・「対人スキル」涵養は、大学院共通科目として提供されている「プレゼンテーション特論」などの履修やプレゼンテーション力を涵養することを目指したセミナーの履修により実施します。
- ・このように涵養したトランスファラブルスキル実践の場として、異なる学年、研究科、専攻の学生3人（あるいは4人）を1組としたグループ（シン・文殊グループ）を構築します。支援学生は、本活動に積極的に参加することが必須となっています。このグループの活動については、後述にて説明します。

②キャリアデザインの涵養と実践の場の提供

- ・博士後期課程学生に多様なキャリアパスを考えさせるきっかけを与える講義として、キャリアデザインⅡ（創成科学研究科）を開講します。この講義では、学外講師（企業関係者、ベンチャー起業家）や学内講師（研究科長など）から、博士後期課程修了後の多彩なキャリアパスの可能性について講演していただきます。この講義は、創成科学研究科の科目ですが、塾生には履修を強く推奨します。また、キャリアパス構築の参考となるセミナーなども随時開催予定です。
- ・インターンシップは、キャリアデザインの実践の場であり、インターンシップ先への博士後期課程学生の派遣については、ジョブ型研究インターンシップ推進協議会（※1）の仕組みを利用する方法などがあります。詳細は、本学キャリアセンター・専門キャリア支援部門にお問い合わせください。

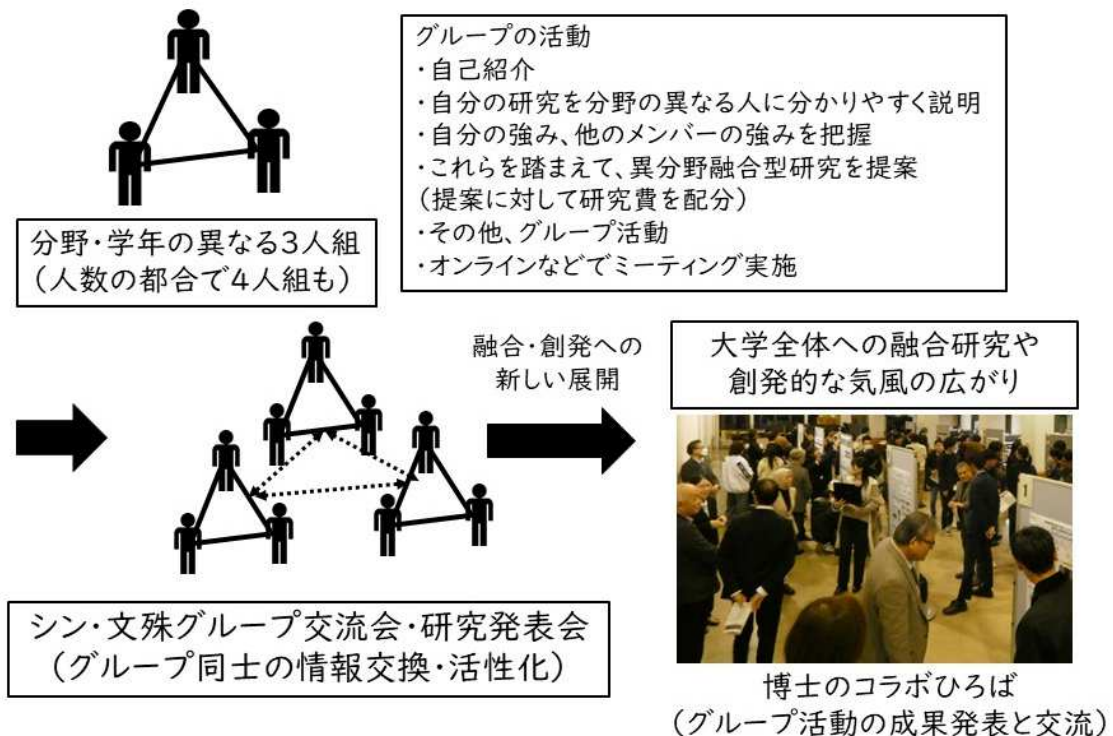
③国際性涵養と実践の場の提供

- ・国際性涵養には、英語をコミュニケーションツールとして使うための各種セミナーなどを開催します。また、学内で実施される関連するセミナーには、積極的に参加してください。
- ・国際性を伸ばす実践の場としての海外研修については、各研究科において独自に実施されている海外派遣制度などを利用します。また、海外大学や海外公的機関とのネットワーク形成を目的とする海外渡航に関しては、そのための海外旅費支援も実施予定です。

④研究力の涵養と実践の場の提供（特に異分野融合研究を中心に）

- ・博士後期課程学生の研究力のうち、やまぐち未来創発塾では、異分野融合研究力を涵養することを目指しています。その仕組みとして、①で触れた、学年、研究科、専攻の異なる3人組グループ（シン・文殊グループ）を構築、その活動による相互触発を誘導、これを起点とする異分野融合研究をより実戦的なものとします。

シン・文殊グループ概要



- ・ 本塾において涵養を目指す能力の実践の場として設定
- ・ 各グループにメンターを配置、活動の進捗状況を把握する。必要に応じて助言するものの、過干渉にならないように留意します。
- ・ メンターとして本学教員の他、周辺企業・公設試の関係者も参画予定です。

(※1)ジョブ型研究インターンシップ推進協議会とは、大学院教育の一環として行われる長期間かつ有給の研究インターンシップの普及により、Society 5.0 に相応しい雇用の在り方と高等教育が提供する学びのマッチングを図ることを目的として設立された組織。定期的開催される説明会(ほぼ毎月1回実施、オンライン)を参考に、塾生はインターンシップへの参加希望の有無に関わらず、マッチングシステムには必ず登録してください。なお、登録に際しては、指導教員のメールアドレス及びキャリアセンターの専門キャリア支援部門のジョブ型研究インターンシップ専用メールアドレス(tryjb_at_yamaguchi-u.ac.jp _at_は@にしてください。)を必ず登録してください。そうしないと、皆さんがジョブ型研究インターンシップに参加や企業とのマッチングの進捗状況などが、こちらでは分かりませんので、よろしくお願いします。